

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか			○		<p>・これまでは保育参加(観)・懇談会において、子育ての悩みを相談し合ったり、情報交換したりする中で保護者同士や職員とのつながりを深めてきました。しかしコロナ禍において園に入れれない、担任職員と顔を合わさない状況が続く、「相談しにくい」「園での子どもの様子がわからない」との苦情が寄せられました。そこで園での普段の姿や行事の取り組み(運動会、発表会等)を動画配信しました。次年度も動画配信を続けていきます。</p> <p>また、就学前の相談として年長組の保護者の方には、個別に面談ができる時間を設けていきます。</p> <p>・今年度より子育て支援室の開放を無くしたことやコロナ禍により、地域の子育ての拠点としての役割が十分に果たせませんでした。今後、このような状況においても、SNS等を使った相談や援助の仕方を検討し、その役割を果たしていけるよう努めていきます。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか			○		
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			<p>・今年度は、新型コロナウイルス感染予防のためマスクの着用や手洗いの励行、保育室内の消毒を徹底しました。園児には、新型コロナウイルス感染予防についての保健活動を行いました。また、保護者の方にもご協力いただきました。しかし今後、収束までには時間はかかりそうです。来年度も、継続した感染予防対策を行っていきます。</p> <p>・避難訓練において、地震の際の履き物等について問題が挙がりました。安全確保のための適切な対応を今後、職員全体で検討していきます。また、様々な状況下を想定して、午後の時間(給食時、午睡後、おやつ時、降園前等)に避難訓練を実施したいと思います。</p> <p>・地震などの自然災害に対する防災対策は行われていますが、そのことを職員が十分認識できていないことがわかりました。今後、園独自の防災マニュアル等により全職員に対して再確認を行っていきます。</p> <p>・子どもの様子を連絡帳や通信等で知らせていますが、十分に伝わらない点も多く、不安に感じている保護者も少なくなかったように思います。保護者からの声を待つのではなく、こども園側から保護者に対して積極的に働きかけていくことが必要でした。直接、話をする機会を設けるなどして保護者からの相談や質問には、丁寧な対応を心がけます。話しやすい、相談しやすいと感じられるような温かい雰囲気作りに努めていきます。</p> <p>・一人一人の職員が、令和3年4月に改定されるキャリアパスフレームを指針として、自身を担う組織の中で、役割を果たしていけるよう努めていきます。また、キャリアアップ研修に積極的に参加し、能力向上を目指します。こども園の資質向上に繋げていきます。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか			○		
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

#### 施設関係者評価

- 保護者アンケートの結果より、コロナ禍での行事の在り方に不満を持たれた保護者の方が多いように感じました。県内の他園での取り組みを参考にしながら少しずつ改善できたらよいと思います。行事開催が難しい中、保護者が企画した楽しいイベントができたのは子どもたちにとって、よい思い出となった事でしょう。
- 教育保育の記録では、日誌様式を変更したことからクラスでの話し合いが増え、一週間の考察から、次週のねらいに繋がっています。計画がたてやすく、教育保育に見通しを持つことができる日誌の形式となっています。
- 避難訓練は、午前中のいつも決まった時間帯に行うのではなく、職員の訓練と捉え、職員が忙しい時間帯(給食、おやつ時、午睡時等)に実施することを望みます。地震時の訓練では、安全確保の適切な対応を今後検討してください。



